

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

2K4K8K

高シールド

HS
JEITA


DX ANTENNA

屋内用

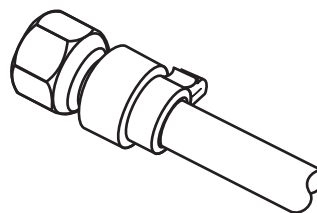
2K・4K・8K放送対応 同軸ケーブル用 C15形(75Ω)

F形接栓

使用帯域(10~3224MHz)

F5SP2 5C用

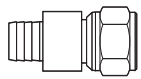
F7SP2 7C用



新4K8K衛星放送に対応

すべての2K・4K・8K放送(3224MHz)に対応しています。

セット内容



本体・・・1個



中心コンタクト*・・・1個



リング・・・1個

※圧着工具(市販品)が必要になります

2K4K8K

2K・4K・8K放送対応マークは、BS・110度CSにて既に放送されている2K放送と4K・8K放送(新4K8K衛星放送)に対応した機器(3224MHz)であることを示します。

高シールド




高シールドマークは、携帯電話や各種無線サービスなどとの電波干渉を抑制するため、厳しい社内基準を基にシールド性を高めた製品であることを示します。

HS
JEITA

HSマーク(ハイシールドマーク)は、一般社団法人 電子情報技術産業協会で審査・登録され、衛星テレビジョン放送の間周波数帯域において、一定以上の遮へい性能を有する機器に付与されるシンボルマークです。

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		指示を守る
---	----------	---	----------	---	-------

警告

誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの

同軸ケーブルを傷つけない

この製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れることがあります。接続や接栓の加工などで心線と編組を接触させたり、同軸ケーブルを傷つけないようにしてください。火災や感電の原因となります。



この製品は屋内専用です

この製品を屋外や風呂場や洗い場など水のかかる場所で使用する場合には、自己融着テープやビニルテープで防水処理をしてください。防水処理せずに屋外や水のかかる場所で使用すると、電流が流れている場合に火災・感電の原因となります。



注意

誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害の発生に結びつく可能性があるもの

指定した同軸ケーブル以外を接続しない

火災・感電の原因となることがあります。



締付リングや締付金具は、同軸ケーブルが抜けないように確実に締付ける

同軸ケーブルが抜けたりして、故障の原因となります。



指定している力(トルク)で締付ける

接続ナットを破損したり、接続ナットが緩んだりして、故障の原因となることがあります。



テレビ受信工事には技術経験が必要です

アンテナの設置や配線、接続、移設、撤去については、販売店・工事店にご相談ください。



適合ケーブル

下図のように同軸ケーブルを加工し、①～⑤の順で接栓を取付けて使用してください。
 ※加工不良があると取付けができません。

使用できる同軸ケーブル

<F5SP2> S-5C-FB(5C相当同軸ケーブル)

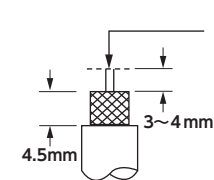
心線径 (mm)	1.05~1.2
絶縁体径 (mm)	5.1以下
外被径 (mm)	7.4~8.0

<F7SP2> S-7C-FB(7C相当同軸ケーブル)

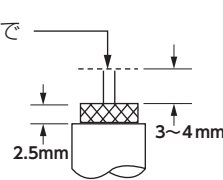
心線径 (mm)	1.5
絶縁体径 (mm)	7.6以下
外被径 (mm)	9.7~10.7

先端の加工方法

<F5SP2>

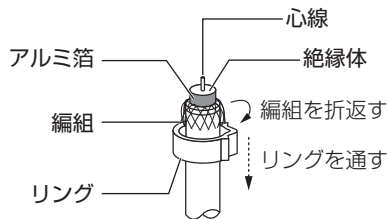


<F7SP2>



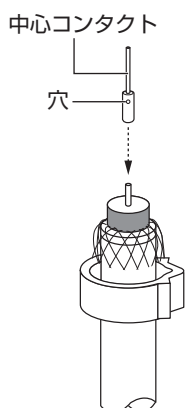
心線をニッパで
カットする

① 同軸ケーブルを加工し、リングを通す



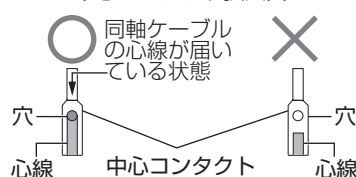
- 注) ・編組で指を傷つけないように気をつけてください。
 ・アルミ箔は折返さないでください。
 ・折り返した編組は、リングからはみ出さない程度にカットしてください。
 ・心線に絶縁体の白い膜が付着している場合は、接触不良の原因となりますので、必ずこすり落としてください。

② 中心コンタクトを心線にかぶせる



中心コンタクトの穴位置まで同軸ケーブルの心線が届いているか確認してください。

<中心コンタクト拡大図>



③ 中心コンタクトの太い部分を圧着工具(市販品)の下記の表示部でカシメる

注意

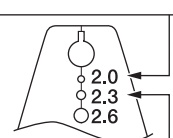
ご使用の圧着工具(市販品)に2.0または2.3の表示部があることをご確認ください。



<圧着工具(市販品)>

<表示部拡大図>

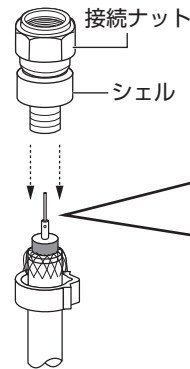
F5SP2 :
2.0表示部分でカシメる



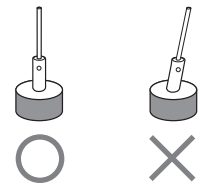
F7SP2 :
2.3表示部分でカシメる

注) 中心コンタクトに編組やアルミ箔の切れ端が付着していないことを確認してください。

④ アルミ箔と編組の間にシェルを差込む



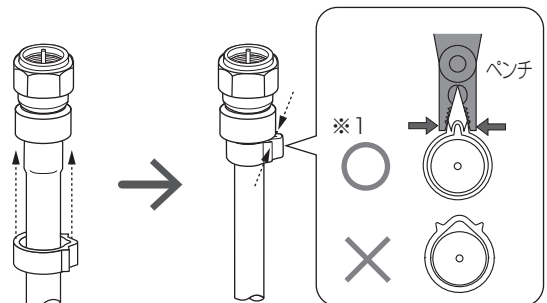
カシメた中心コンタクトが斜めに傾いていないことを確認してください。



注) シェルはしっかり奥まで差し込んでください。

⑤ リングをペンチなどではさんで締付ける

※1: リングは同軸ケーブルから抜けないように確実に締め付けてください。



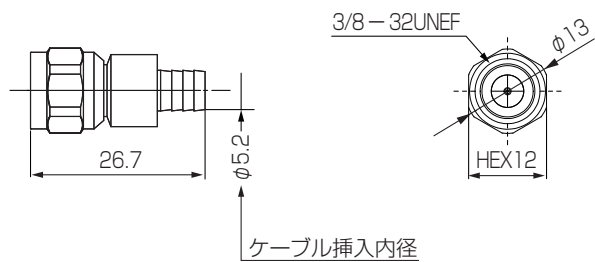
規格表

項目 (単位)	性能	
型番	F5SP2 	F7SP2 
使用周波数 (MHz)	DC ~ 3224	
インピーダンス (Ω)	75 (不平衡形)	
許容電流 (A)	1以下	
質量 (g)	9	10

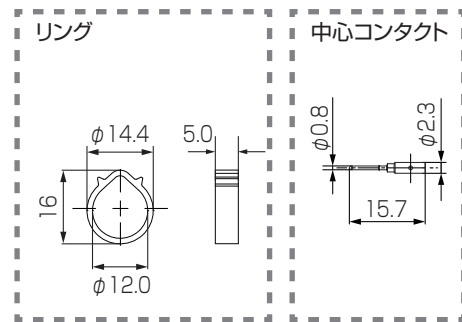
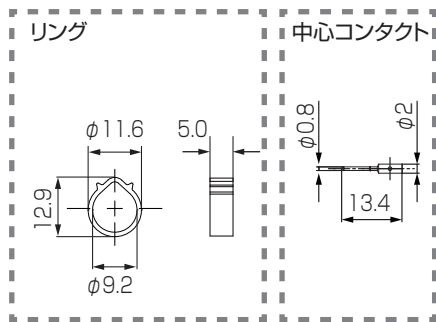
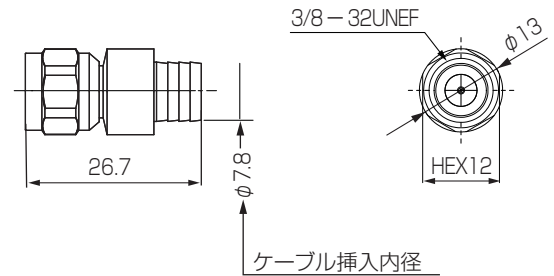
※規格は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。

外形寸法図

F5SP2



F7SP2



(単位：mm)

※本製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

カスタマーセンター

土・日・祝日もご利用ください!



0570-033-083

※全国一律料金でご利用いただけます。
 ※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
 ※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

(1901)

DXアンテナ株式会社

■ 受付時間 9:30~17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)
 ■ 一部のIP電話で上記番号がご利用になれない場合：050-3818-9016

ホームページアドレス
<https://www.dxantenna.co.jp/>